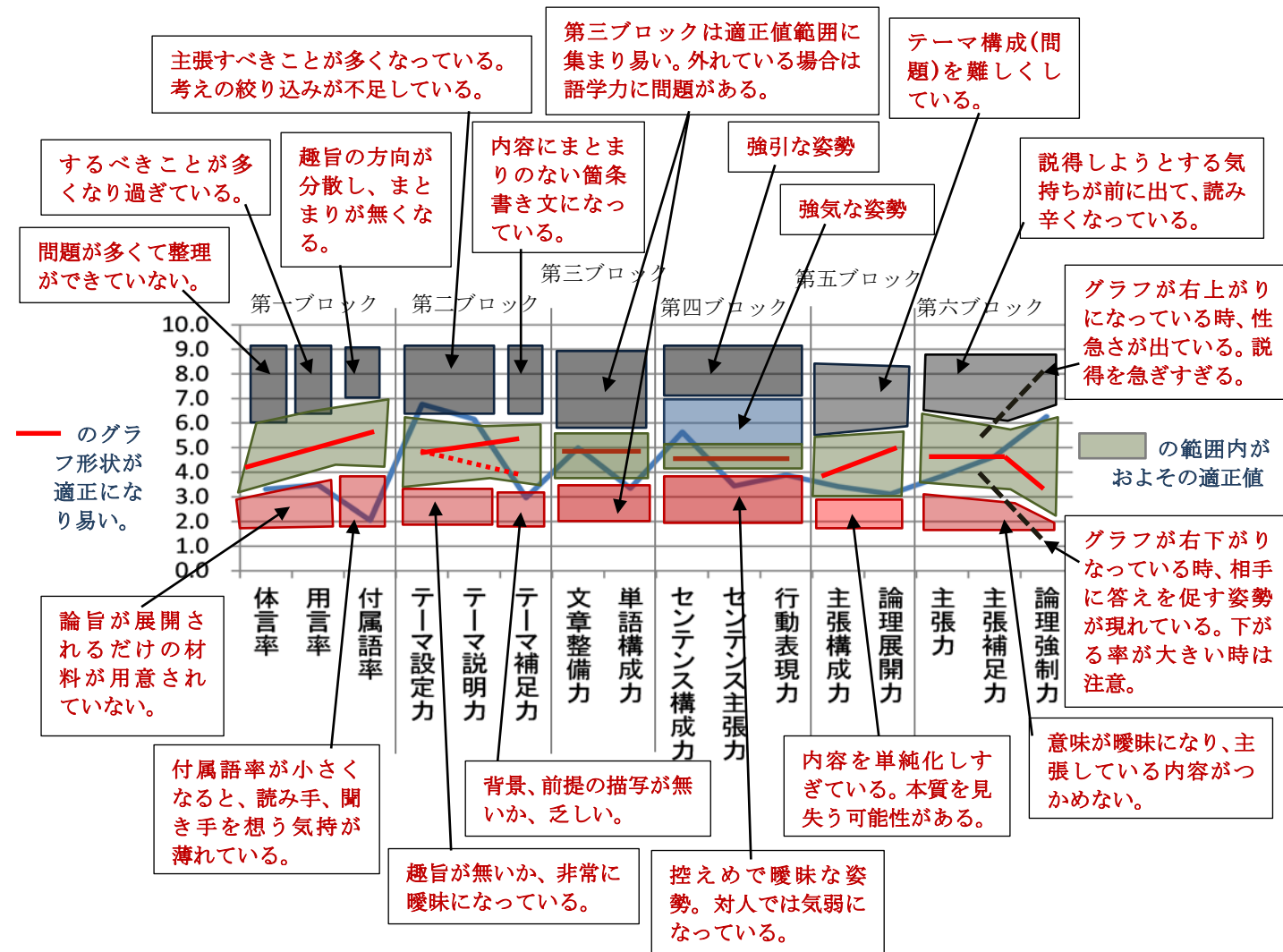
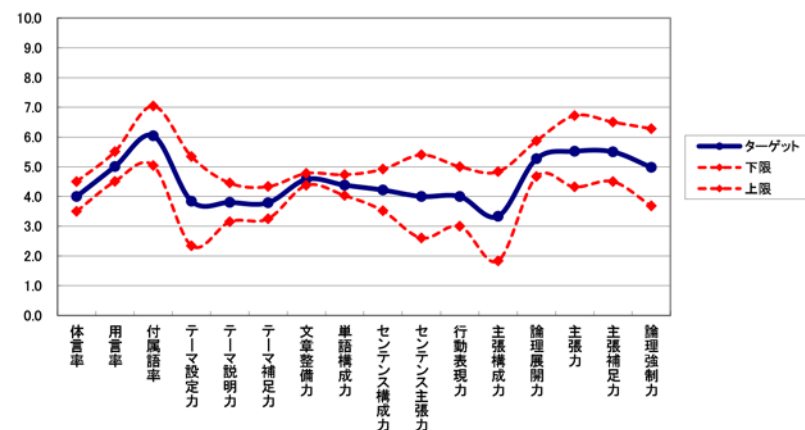


■分析値の意味とブロック別グラフ形状

おそらく弊社だけが持つ分析値グラフです。表現そのものを16の分析値項目で表し、作者の状態を視覚化しています。グラフ形状が人材のありようと表現したテーマに対しての特徴を表しています。グラフ形状は、一人の人材では、いくつもの文章を書いたとしても、類似した形状になると分かっています。グラフの分析値と形状の意味は膨大な文章データ量の統計から人材と表現、グラフ形状の関係が求められました。



■読後感の良い好感度の高い文章の分析値グラフ形状



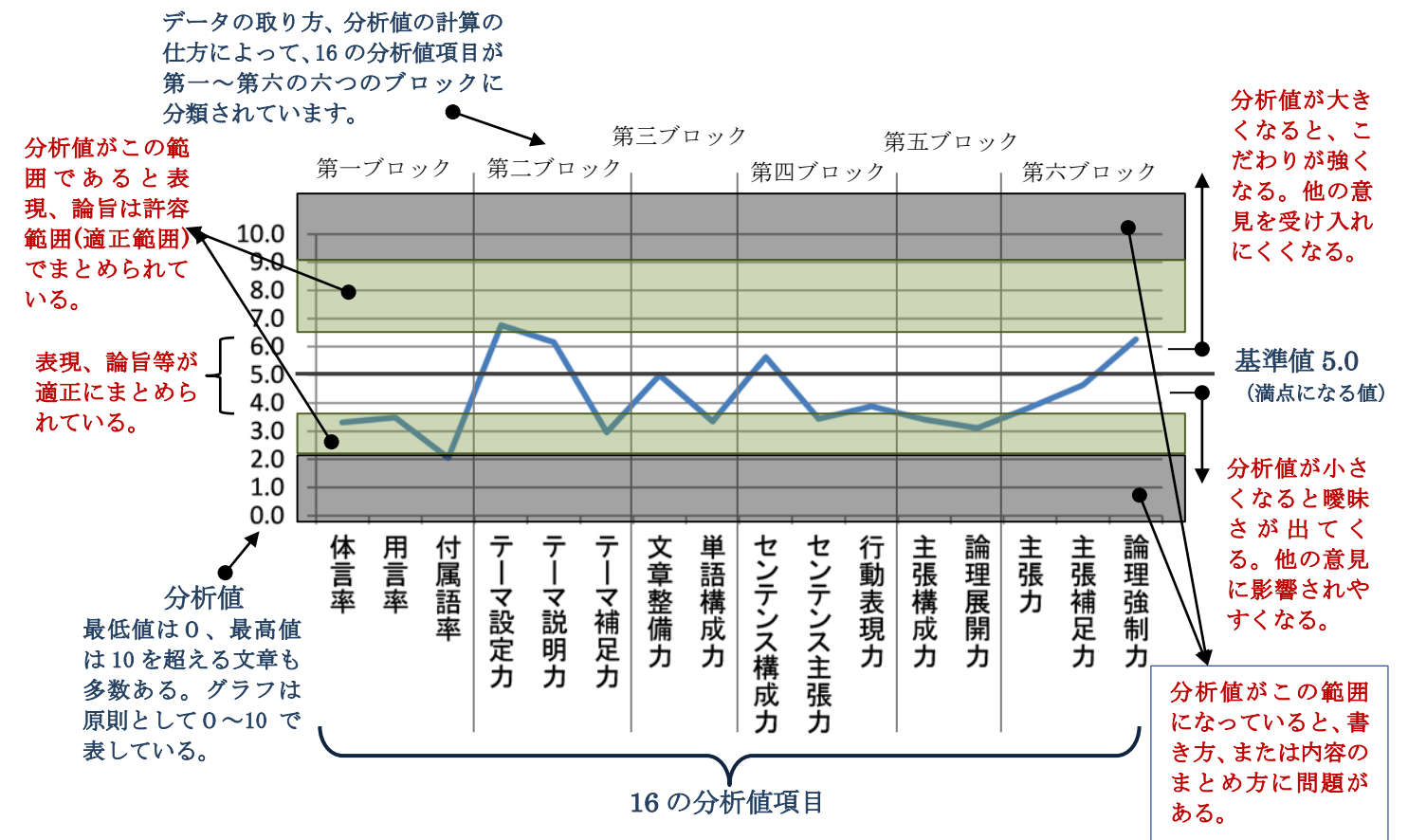
左のグラフは、読みやすく、分かり易く、説得性の高い文章の分析グラフです。青の実線がターゲットになるグラフ形状です。二つの赤の破線は、表現の遊びにあたる範囲を表しています。表現には必ずブレ幅があります。ブレ幅は、数百人の各複数の文章を集め、求められました。その後、求められた値の検証が繰り返されています。二つの赤の破線の間に分析値が収まり、グラフの形が青の実線になるように文章を表せば、読みやすく、説得力が上がるようになります。

文章の心電図(分析値グラフ)

文章分析は言葉を素材にした分析です。文章分析エンジンが稼働して15年以上が過ぎました。その間に様々な表現形式(論文、報告文、エッセイ、小説等)の文章を分析してきました。分析した文章の数は五十万を超えています。日々、全国紙の社説を分析し、日本語の変化も追いかけています。分析目的とする範囲も広がっています。人と文章と分析技術の関係を追いつけています。

文章の作者の表現、思考形態を一つの折れ線グラフで表しているのが、弊社の文章分析の大きな特徴の一つです。グラフは16の分析値で表されています。グラフ形状を並べて見ると人材の特徴の違いが良く分かるはずです。本資料では、分析値グラフの見方をご紹介します。

■分析値をグラフに表した『文章の心電図』



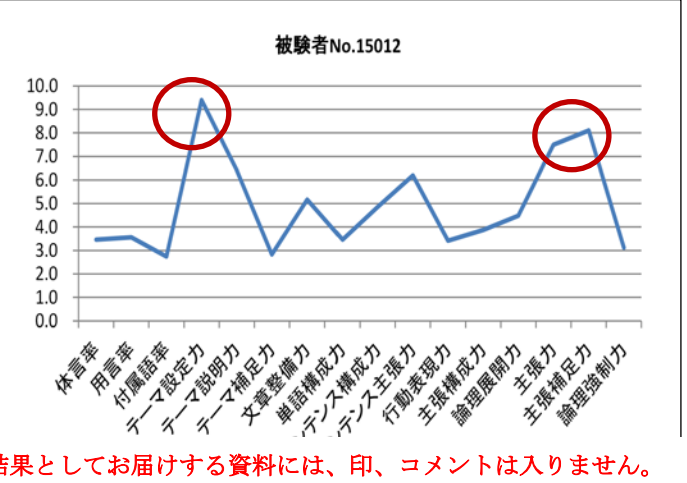
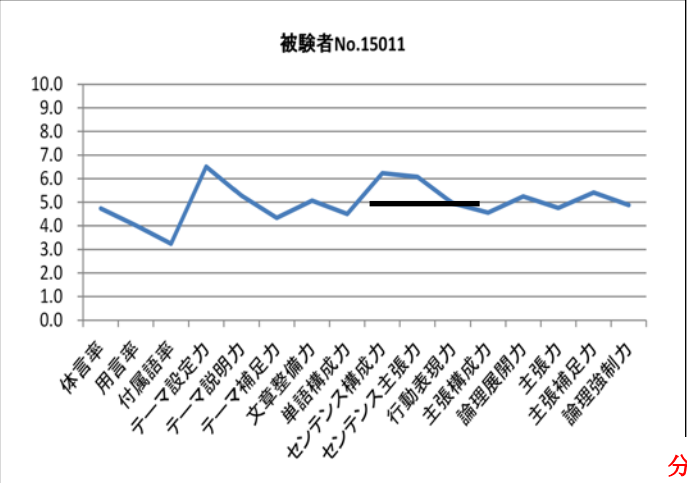
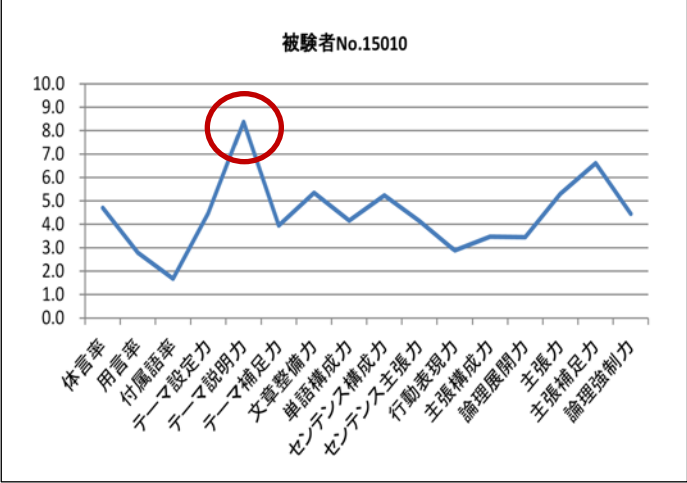
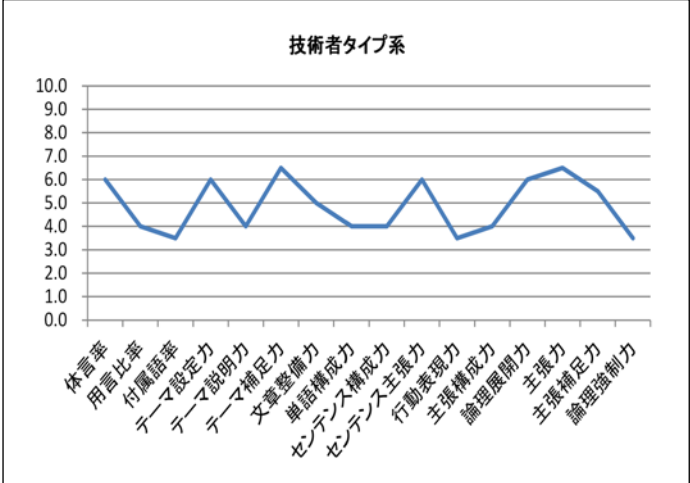
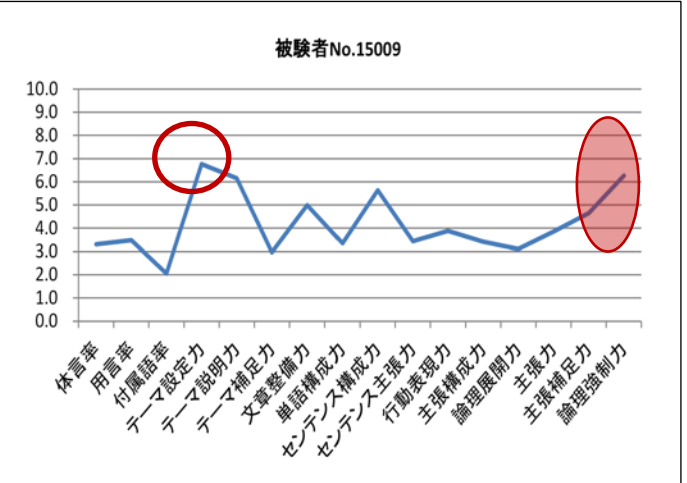
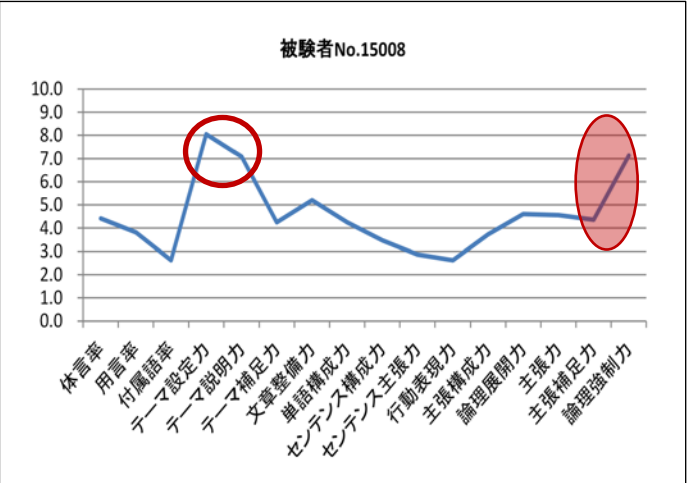
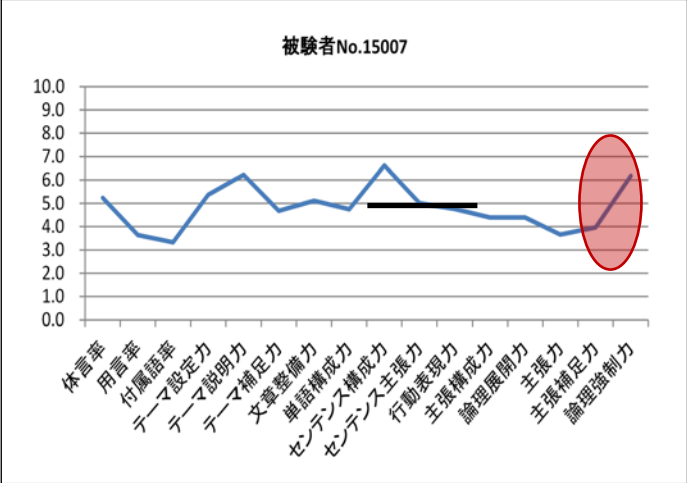
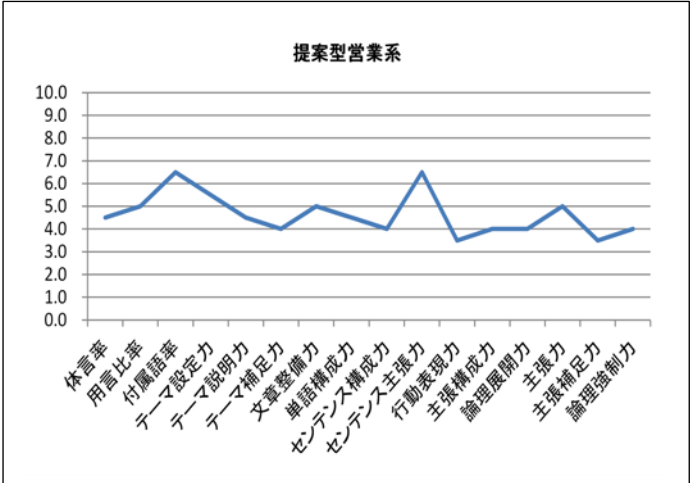
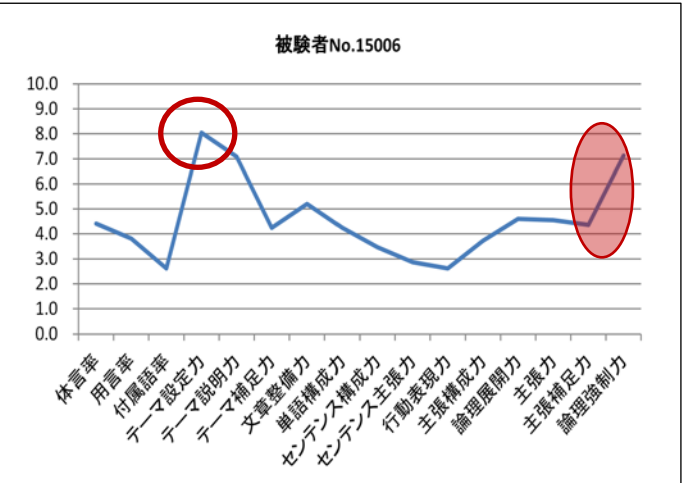
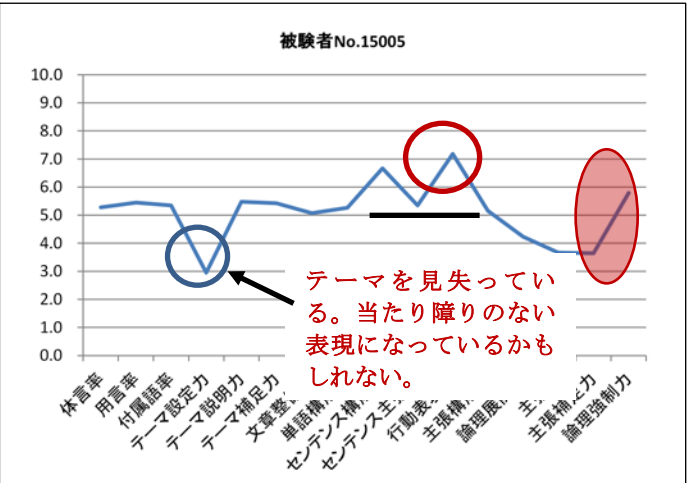
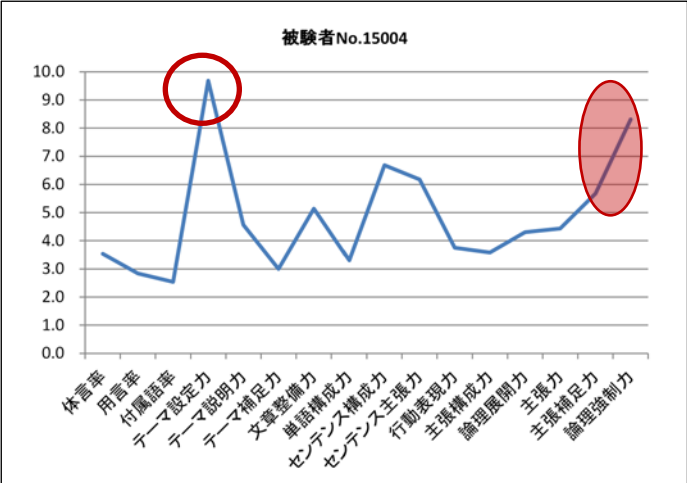
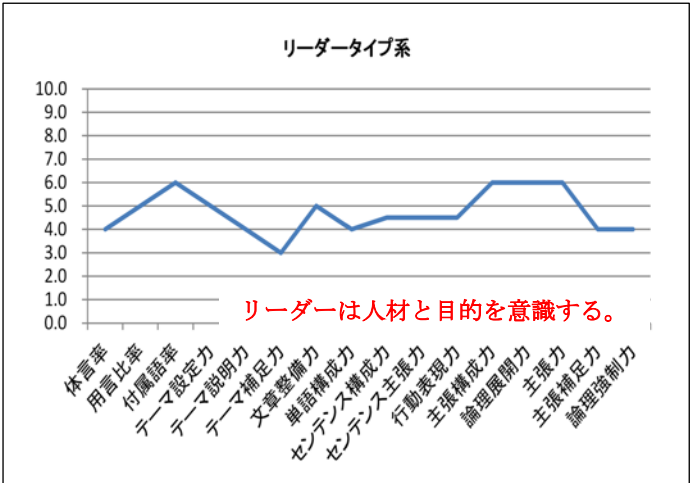
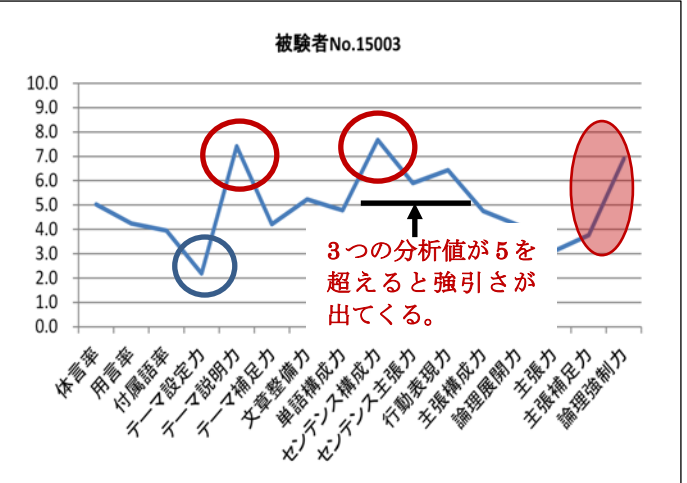
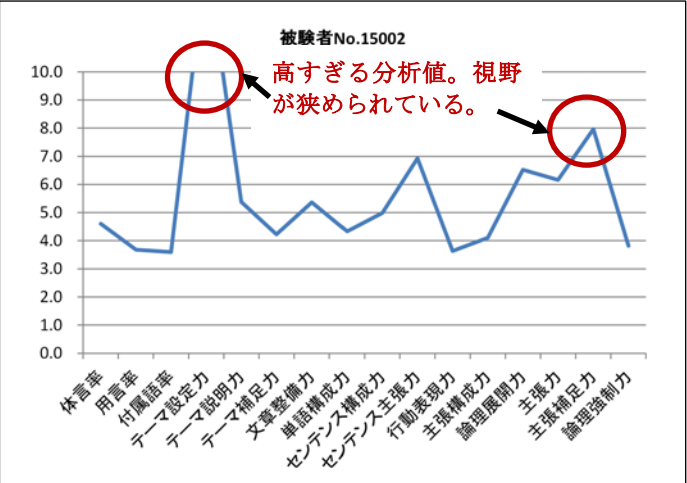
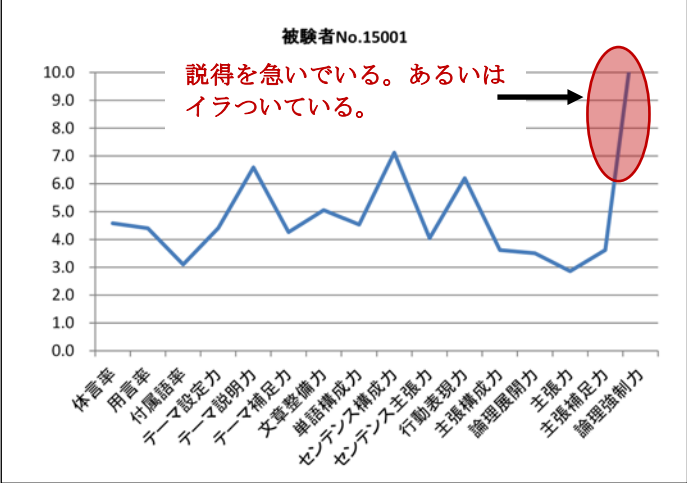
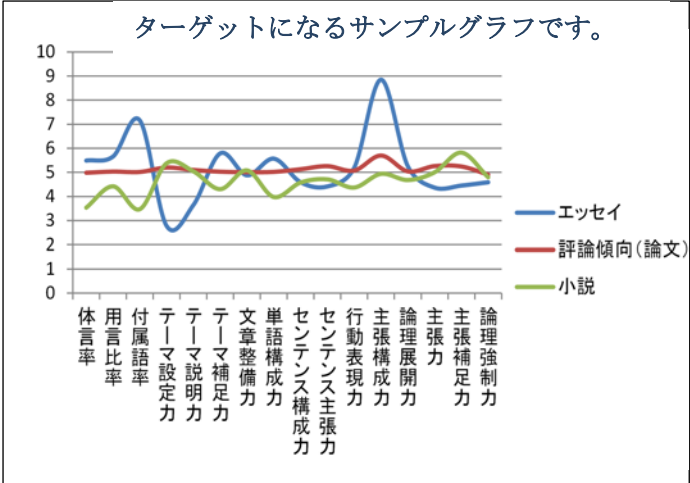
■グラフのブロック単位の形状には次の種類がある



六つの各ブロックは3つまたは2つの分析値で構成されています。一つのブロックは、同種のデータを取り、グラフの形で、表現&思考タイプがあるのが分かりました。第一、第二、第四、第六ブロックは分析項目が3種類あり、上図のようにグラフ形状が9種類あります。第三、第五ブロックは2つの分析項目があり、グラフ形状は右上がり型、水平型、右下がり型の3種類があります。グラフ形状の例を挙げておきましょう。第一ブロックは体言率と用言率、付属語率で構成されています。分析値が右上がりになる人は対人性の高い人になり、山型になると、指示をする傾向が強くなっています。第二ブロックが、右下がりであれば、自身だけが納得して、相手も納得しているつもりになっています。右上がり型は、趣旨をつかんでおらず、分かったつもりになっています。第5ブロックの左の分析値が4以下で右上がりになっている場合は、問題を簡単にしてしまう傾向があります。分析値によって状態のレベルは変わりますが、人材を認識するための一つの指針になっています。

分析結果一覧表以外に、下記の形で被験者の分析値グラフのみの一覧をサブ資料としてお届けします。

下記の 12 のグラフは日経 225 の企業から無作為に選び、その代表者の挨拶文を分析しています。



分析結果としてお届けする資料には、印、コメントは入りません。